

(2014年度)

1 世界史問題 (60分)

(この問題冊子は25ページ，4問である。)

受験についての注意

1. 監督の指示があるまで，問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に，監督から指示があったら，解答用紙の右上の番号が自分の受験番号と一致することを確認し，所定の欄に氏名を記入すること。次に，解答用紙の右側のミシン目にそって，きれいに折り曲げてから，受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し，机上に置くこと。
3. 監督から試験開始の指示があったら，この問題冊子が，上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は，HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能，計算機能，辞書機能などを使用してはならない。
5. 解答は解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで，そのマーク欄をぬりつぶすこと。その他の部分には何も書いてはならない。
6. マークをするとき，マーク欄からはみ出したり，白い部分を残したり，文字や番号，○や×をつけてはならない。
7. 訂正する場合は，消しゴムでていねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
8. 解答用紙を折り曲げたり，破ったりしてはならない。
9. 試験時間中に退場してはならない。
10. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
11. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

1 次の文章を読んで、問(1～2)に答えなさい。

ローマ帝国は、イタリア半島の中部の小集落ローマから出発した。最初はその周辺に居住していた先住先進民族(1)人などを徐々に征服し、前(2)世紀にはイタリア半島部分の統一を達成した。その後、西地中海の南フランスやイベリア半島へも勢力を広げてゆくが、それは当時地中海の覇者だった(3)創建の娘都市カルタゴとの軋轢を招来し⁽⁴⁾紆余曲折の3次におよぶ国運をかけた戦争の結果、このライバルをようやく完膚なきまでに葬り去ることができた。特に苦戦を強いられたのは、首都ローマそのものが脅かされた(4)の、(5)による攻勢だった。その後さらに東地中海にも進出し、(6)にはギリシア本土や小アジアを支配下に収め、さらにシリアを落日の(7)から奪い取り、そして(8)年にはエジプトのクレオパトラを滅ぼして、地中海全域の覇者となった。ローマ帝国の国力と活力は、海外征服領土すなわち属州から収奪した富の再分配からなっていた。戦いが富の源泉になってしまったのである。一種のバブル期といえる「内乱の一世紀」はまさしくそういう時代だった。ただし、こう書くといかにも順調な発展だったように思えるかもしれないが、これが本国の経済構造を破壊し、その結果、たとえば前1世紀初頭には(9)によって手痛い反撃を受けたりもして、けっして順風満帆の発展だったわけではない。

さてローマ人は海岸線の確保で満足したギリシア人と違って、内陸にも支配の触手を伸ばし始める。その嚆矢となったのが、かのユリウス＝カエサルだった。名門出身ながらまだ無名に近かった40歳のカエサルは、自らの処遇につき元老院に不満をもっていた(10)と、ローマ随一の大富豪で(10)とは犬猿の仲だった(11)の、年長の有力者二人の間を巧みに取りもって政治同盟を結ぶことに成功し、その密約で前59年にローマ共和政の最高公職(12)に就任、翌年から5年間の軍事命令権を獲得し、現在の(13)の属州化の端緒をえた。この彼の対外軍事行動は明白な盟約違反であったこともあり、この同盟はきしみ出し数年で崩壊する。(11)は(14)であっけなく屈辱的な敗戦死をこうむり、(10)はカエサルとの戦闘に思わぬ敗北を喫し、落ちのびた先の(15)で殺害されて、それぞれ消えていった。カエサルは叔母ユリアがマリウスの妻になっ

たこともあり、当初は(16)の党派に属していたが、独裁的権力をあからさまにしたことにより、前(17)年にそのとき臨時の元老院会議場だった(10)劇場に隣接する列柱廊で、皮肉にもそこに置かれていた(10)の彫像の下で暗殺されたと伝えられている。

その後の混乱を乗り切って勝利を収めたのはカエサルの養子となったオクタウィアヌスだった。彼は(18)を破って、実質上の帝権を確立したが、表向きは支配階級の元老院議員中の「第一人者」—これをラテン語で(19)という—としてたちふるまい、カエサルのでつを踏まないよう慎重に行動した。その彼の泣き所は病弱で軍事的能力に著しく劣っていたことで、その弱点を養父が配した盟友アグリッパを用いることで補完していた。それが遺憾なく発揮されたのは、ナウロクス沖の海戦や(20)においてであったが、このアグリッパは、「ローマの平和」が達成されて以降には、建築にもおおいに才を発揮し、たとえば、ローマ市内の(21)や公共浴場、それに(ロ)ガール水道橋(イ)の建設も初代水道長官の彼の仕事だった。あまり知られていないが、アグリッパの特筆すべき仕事として、イタリア半島の西側にミセヌムとユリウスの海軍基地を整備したことも重要であった。

ところでそのミセヌムで思い出すのは、すこしのちの時代の話であるが、後79年のウェスウィウス山噴火の際、当時艦隊司令だった騎士身分の(22)は、被災者救出にかの海軍基地からポンペイ方面に自ら艦隊を率いて出動し、スタビア(ニ)に上陸を果たしたものの、火山性ガスにより窒息死したと伝えられている。彼は寸暇を惜しむ大著述家としても有名で、100を越える大量の著書を記したが、我々の時代までに現存し得たのは全37巻の大著(23)のみである。

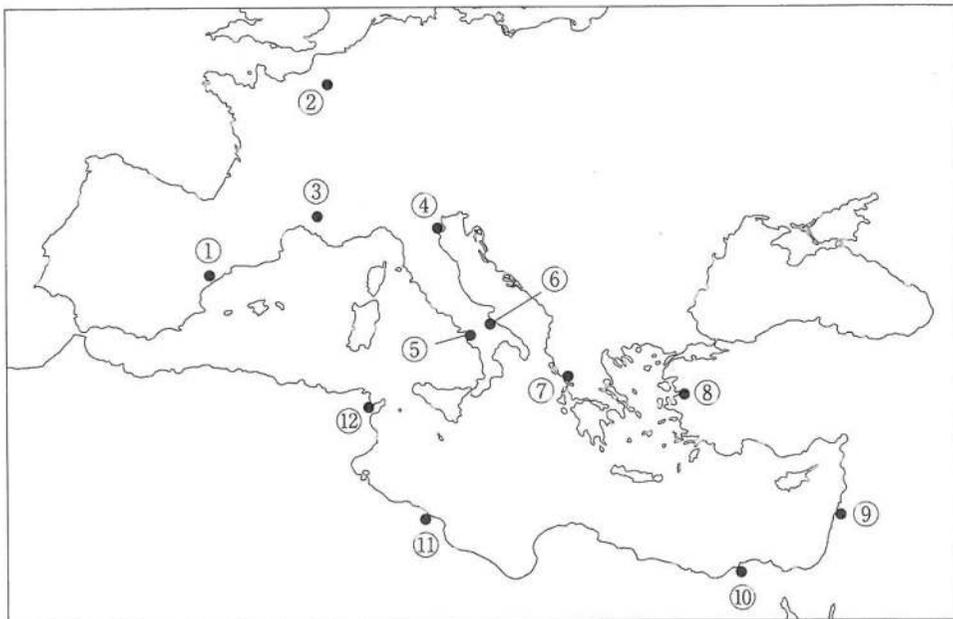
問1 空欄(1～23)にもっとも適切な語を選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

なお、正解がない場合はeをマークしなさい。

- (1) a ケルト b エトルリア c ゲルマン d ヒクソス
- (2) a 6 b 5 c 4 d 3
- (3) a ギリシア人 b フェニキア人 c アラム人
d ユダヤ人
- (4) a 前3世紀前半 b 前3世紀中葉 c 前3世紀末
d 前2世紀初頭
- (5) a グラックス兄弟 b 小スキピオ c ハンニバル
d 大スキピオ
- (6) a 前3世紀前半 b 前3世紀後半 c 前2世紀前半
d 前2世紀中葉
- (7) a セレウコス朝 b パルティア c アンティゴノス朝
d プトレマイオス朝
- (8) a 前40 b 前30 c 前27 d 後40
- (9) a 同盟市戦争 b シチリア奴隷反乱 c スパルタクスの反乱
d ミトリダテスの反乱
- (10) a スラ b キケロ c ポンペイウス d レピドゥス
- (11) a レピドゥス b クラッスス c セネカ
d アントニウス
- (12) a アルコン b デイクタトル c インペラトル
d コンスル
- (13) a フランス b ドイツ c オランダ d イギリス
- (14) a ザマの戦い b パルティア遠征 c エデッサの戦い
d スパルタクスの反乱
- (15) a ルーマニア b イギリス c ドイツ d エジプト
- (16) a ポプラレス b エクイテス c ノビレス
d オプティマテス
- (17) a 44 b 43 c 42 d 41

- (18) a クラッスス b マリウス c スラ
d アントニウス
- (19) a パトリキ b プリンケプス c ノビレス
d アウグストゥス
- (20) a マカベア戦争 b ポエニ戦争 c アクティウムの海戦
d イッソスの戦い
- (21) a アッピア街道 b パルテノン c コロッセウム
d パンテオン
- (22) a ストラボン b プリニウス c タキトゥス
d プトレマイオス
- (23) a 『地理誌』 b 『天文学大全』 c 『ローマ建国史』
d 『自省録』

問2 下線(イ～ニ)にもっとも適切な場所をそれぞれ地図上の①～⑫から選び、
 そのもっとも正しい組み合わせグループを、以下の選択肢(a～h)から1つ
 選びなさい。なお、各選択肢内の番号は、数字の若い順である。



- a ①, ②, ④, ⑥
- b ④, ⑧, ⑨, ⑪
- c ②, ⑤, ⑥, ⑩
- d ②, ④, ⑧, ⑨
- e ③, ⑤, ⑦, ⑫
- f ①, ③, ⑦, ⑫
- g ①, ⑥, ⑪, ⑫
- h ③, ⑧, ⑨, ⑩

I 次の文章を読んで、問(1～9)に答えなさい。

その(1)其本国は欧羅巴洲東北(2)境の大国にて、西は波羅泥亜(3)、雪際亜に壤を接し、南は小韃靼(4)、黒海、北高海に際し、東は亜細亜の大韃靼に接し、北は氷海に至る。東西経り八百余里、南北五百六十余里(此里数は此方の里法なり)気候極めて寒く、土地多くは曠原茂林にて、諸穀を産する事絶少なり。往古はその土人もつとも野陋強暴にして、勇を好むのみにて、道理を弁たる者も少かりしに、百余年前に国王()といひし人、徳絶盛に、智絶高く、神武英雄絶倫にして広く土地を併せ、多く河道を開て往来を通じ、大に公益の利を起して其国を富し、又諸国より有名の師儒をむかへ、処々に学校を設て国人を教導し、算数、書法より百工技芸の末に至るまで各良工巧匠を撰て其道を教へ曉さしめ、風俗言語衣服までも古俗の悪敷を变革してより、政化日にますますさかんなり。是より先千五百十四年(永正十一年)に始て帝号を称せしより、次第に強国となりけれども、特に()に至て威名大に振ひ、近隣多く臣服せしかば、兵威も漸漸に強盛になりて、北は雪際亜の東北およびヒンランドを降し、南都爾格を破りて黒海沿岸のアゾフ、(8)ビュルドワの諸城を抜き、東の方亜細亞洲なる大韃靼の北陲を侵掠し、(9)沙漠より北氷海に沿、東北の尽头亜墨利加洲の(10)壘(11)亜泥俺峽に到るまで、南北八百余里、東西凡千六百余里(本邦の里法なり)の地を吞併して、今は世界第一の大国となりし也。

(出典：桂川甫周著・亀井高孝校訂『北槎聞略』岩波書店、1990年。原著は1794年完成。)

問1 下線部(1)は、下線部(2)とデンマークと結んで、下線部(3)を攻撃した。この戦争は、一般になんと呼ばれているか。もっとも適切なものを選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a アウクスブルク同盟戦争 b クリミア戦争
- c オーストリア継承戦争 d ファルツ戦争 e 北方戦争

問2 下線部(4)の「^{ケレーネタルク}小韃靼」は黒海北岸にあったイスラーム教国のことであるが、一般になんと呼ばれているか。もっとも適切なものを選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a イル＝ハン国 b オゴタイ＝ハン国 c クリム＝ハン国
- d コーカンド＝ハン国 e チャガタイ＝ハン国

問3 下線部(5)および下線部(7)の()には同じ人物の名前が入るが、この人物は、誰か。もっとも適切なものを選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a アレクサンドル1世 b イヴァン3世 c イヴァン4世
- d エカチェリーナ2世 e ピョートル1世

問4 下線部(5)および下線部(7)の人物に関する記述として誤っているものを選択肢(a～e)から2つ選びなさい。

- a オスマン帝国を圧迫してアゾフ海に進出した。
- b 軍備の拡大を背景にシベリア経営をすすめた。
- c 17世紀の後半におこったプガチョフの農民反乱が鎮圧された後、帝位についた。
- d 中国の清朝とキャフタ条約を結んで両国の境界を定め通商をひらいた。
- e みずから西欧諸国を視察し、西欧諸国を模範に改革をすすめた。

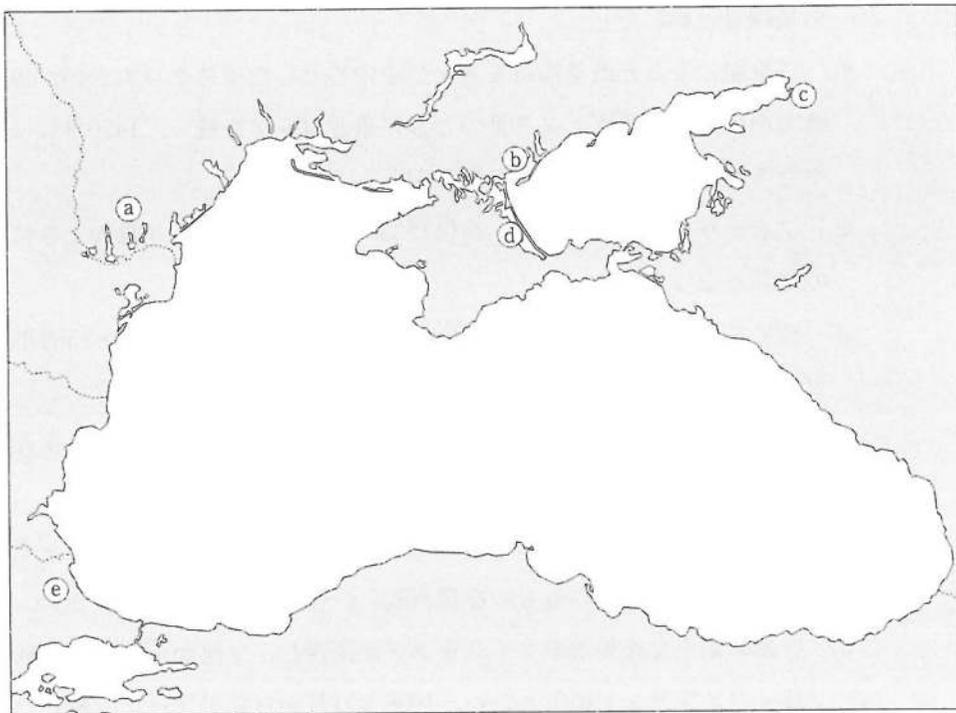
問5 下線部(6)に関連する記述として誤っているものを選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a イヴァン3世は、ビザンツ帝国最後の皇帝の姪ソフィアと結婚して帝国の後継者と称した。
- b 15世紀になると商業都市モスクワを中心としたモスクワ大公国が急速に勢力をのぼし、イヴァン3世のときに東北ロシアを統一、1470年にはようやくモンゴルによる支配から脱した。
- c ツァーリ(皇帝)の称号は、在位1533～84年のイヴァン4世のときに正式の称号となった。
- d 初めてツァーリ(皇帝)の称号をもちいたのは、在位1462～1505年のイヴァン3世であるから、『北槎聞略』下線部(6)の記述は正しくない。
- e モンゴルによる支配のことをロシアでは「タタールのくびき」とよんだ。

問6 下線部(8)の「フィンランド」はフィンランドのことである。フィンランドに関する記述として誤っているものを選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a ソ連の領土交換要求をフィンランドが拒否し、ソ連から開戦した戦争をソ連＝フィンランド戦争といい、1936年11月から40年3月まで続いた。
- b ソ連＝フィンランド戦争の結果、ソ連はフィンランドからカレリア地方を奪った。
- c フィンランドの住民の大多数は、ウラル＝アルタイ語系の言語を話すフィン人である。
- d フィンランドは、1917年12月、ロシアからの独立を宣言し、共和国となった。
- e フィンランドは、中世以降ほぼスウェーデン領であったが、1809年ロシアが併合し、ロシア皇帝が大公を兼任する自治大公国となった。

問7 下線部(9)は，下の地図中のどの付近を指すか。もっとも適切なものを選択肢(a～e)から1つ選びなさい。



問8 下線部(10)の「ビュルドワ」とは、モルダヴィアのことであると考えられているが、これに関連する記述として誤っているものを選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a モルダヴィア王国は、9世紀にチェック人が建てた、スラブ人の王国で、10世紀、マジャール人の進出で衰退した。
- b モルダヴィア公国は、14世紀に建国されたが、15世紀にオスマン帝国の支配下に入った。
- c モルダヴィアとワラキアにトランシルヴァニア地方が加わると、ほぼ現在のルーマニアの領域と重なる。
- d ラテン系のルーマニア人は、14世紀にワラキア公国とモルダヴィア公国を建国した。
- e ロシアは1853年、ギリシア正教徒の保護を理由に、モルダヴィア・ワラキアを占領した。

問9 下線部(11)の「^{アニア}亜泥俺峡」は、ピョートル1世に仕え、カムチャツカ探検をおこなうなどした探検家の名前をとって、現在では別の名前ではばれている。この探検家の名前としてもっとも適切なものを選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a アリュウシヤン b イェルマーク c ベーリング
- d ムラヴィヨフ e ラクスマン

II 次の文章を読んで、問(10～14)に答えなさい。

莫斯科府ヨリ、東部^{カサン}加⁽¹²⁾匱旧王国ハ、荒寒ノ郷ナリ、北方及ヒ西北ニ赴クニ從ヒ、土地^{ひせき}疲瘠ニテ、氣候^{せいし}厳烈ナルニヨリ、生齒^{せいし}甚タ^ま希レニ、森林野ヲ互ル、芬蘭公国ハ、銅鉄ヲ出シ、製作盛ナルヲ以テ、農牧ノ業モ亦盛ンニ、漁利多シ、北方ノ府庫ト称セラル、極南、高加索山^{コーカシユス}ノ両原ハ、今ニ遊牧ノ^{じゅうりん}蹂躪ヲ蒙リ、且^{かつ}枯燥ノ漠野ニテ^{せいし}生齒息セス、此国ノ耕地森林ハ、帝領、公侯、豪族ノ私有地ニ、十分ノ九ヲ占領セラレ、自主ノ農民ハ甚タ少キコト、帝領地ノ借料、年ニ五百三十一

万「ルーブル」ヲ収ムルニテ察セラレタリ、故ニ露国ノ農民ハ、之ヲ隷農ト名ケ、其領主ヨリ賦与セラレタル田野ヲ耕スモノ大半ニオリシニ、十年前ニ其隷農ヲ廢シ、作得ノ総額ヨリ、百分ノ二十ヲ地主ヘ納メシメ、政府ヨリ利足五銖ノ紙幣ヲ發行シ、代テ辨償シタルヲ、農民ハ四十九年ノ間、百ニ六分ノ租ヲ政府ニ納メテ、其債ヲ償フコトトナレリ、是ヲ以テ、全国ノ民ヲ挙テ、猶殆ト奴隷ニヒトシク、自由ヲ得ルモノ絶テ少シ、貴賤ノ隔絶セルコト、実ニ甚タシ、野ニ於テハ、人民ミナ矮屋ノ内ニ住居シ、往往穴居巢処ニ類スル如キヲミル、而テ大都ノ地ハ、傑閣雲ニ連リテ、莊麗国ヲ輝カス、此一ヲ以テ他ヲ概推セラレタリ、()年二月ニ、皇帝ノ詔ヲ以テ、隷農ヲ廢シ、又一千八百六十四年三月更ニ令ヲ發シテ、波蘭一部ノ民ニハ、自由ノ權ヲ許セリ、

(出典：久米邦武編・田中彰校注『特命全權大使米欧回覽実記(四)』岩波書店、1985年。原著は1878年出版。)

問10 下線部(12)の「加^{カザン}匱旧王国」に関する記述としてもっとも適切なものを選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a カザン＝ハン国は、イヴァン3世に征服され、ロシアに併合された。
- b カザン＝ハン国は、イル＝ハン国の第7代ハンであるカザン＝ハンによって1295年に建国された。
- c カザン＝ハン国は、キプチャク＝ハン国の流れをくむ、ヴォルガ川中流域に建てられたモンゴル系国家である。
- d カザン＝ハンは、イラン人サイイド＝アリー＝ムハンマドを登用して、イクター制の採用、地租中心の税制の確立など、内政の安定に努めた。
- e カザン＝ハンは、1290年イスラーム教に改宗して国教とし、モンゴル人イスラーム教徒やイラン系住民との融和をはかった。

問11 下線部(13)に関して、その説明として誤っているものを選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a 農奴解放令では、土地は農民個人ではなく農村共同体(ミール)に引きわたされることが多かったが、それは、支払いを保障するためであった。
- b 農奴解放令は、クリミア戦争の敗北後の一連の改革の一つとしておこなわれたものであった。
- c 農奴解放令は、農村共同体(ミール)を統治の末端に組み込み、他方で、工場労働者を創出して工業化への道を開こうとするものであった。
- d 農奴解放令は、農奴に人格的自由を認めたが、土地は貴族領主から買い取らなければならなかった。
- e 農奴解放令は、農民の人格的自由を認め、移動と結婚の自由を与えたが、金銭を支払わなければ賦役義務からの解放が認められず、保守派の抵抗も強く、皇帝の死によって中断された。

問12 下線部(14)の「大都」はサンクト＝ペテルブルクのことである。サンクト＝ペテルブルクに関する記述として誤っているものを選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a サンクト＝ペテルブルクは、1703年にピョートル1世が建設を開始し、1712年にロシア帝国の首都となった。
- b サンクト＝ペテルブルクは、この港を通じて西欧文化が流れ込んだことから「西欧への窓」と称された。
- c サンクト＝ペテルブルクは、第1次世界大戦の開戦後、ペトログラードと改称された。
- d サンクト＝ペテルブルクは、ネヴァ川河口のバルト海に臨む地にある。
- e ペトログラードは、1917年にボリシェヴィキが政権を取ると、その指導者のレーニンの功績をたたえて、翌1918年にレニングラードと改称された。

問13 下線部(15)には西暦が入るが、算用数字で書いた場合の正しいものを選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a 1855 b 1857 c 1859 d 1861 e 1863

問14 下線部(16)の「皇帝」として、もっとも適切なものを選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a アレクサンドル1世 b アレクサンドル2世
c エカチェリーナ2世 d ニコライ1世 e ニコライ2世

3 ナショナリズムに関する次の文章を読んで、問(1～16)に答えなさい。

フランス革命期に生まれたナショナリズムという考え方は、速やかにオスマン帝国支配下のバルカン半島に波及し、ギリシアは9年に及ぶ独立戦争の末に1829年の(1)条約および翌年のロンドン議定書により独立を認められた。1815年に成立したウィーン体制は、原則的にはナショナリズムに対して抑制的であったが、義勇兵^(あ)として独立戦争に参加した(2)のように、ヨーロッパ文明淵源の地とされるギリシアに同情的な風潮はヨーロッパに根強く、オスマン帝国の弱体化を狙うイギリス、フランス、ロシアなどの思惑や、文芸上でのロマン主義の流行も独立の支援に向けて働いた。ウィーン体制崩壊後には、ロシアの南下政策とこれを牽制するヨーロッパ諸国、タンジマート^(イ)による国力の持ち直しを図るオスマン帝国のせめぎ合いが続き、ロシア＝トルコ戦争を経て、最終的にベルリン条約^(エ)によってバルカン半島の多くの地域がオスマン帝国からの独立を達成した。

エジプトでは、ムハンマド＝アリー^(お)がオスマン帝国の総督の地位を保ちつつ、実質的な独立王朝の建国を果たし、近代化に努めた。ムハンマド＝アリー自身は、アルバニア人の両親を持ち、1910年代までオスマン帝国領に留まり続けた(3)の生まれだったこともあって、エジプト人であるとの自覚はあまりなかったと思われるが、イギリスの影響力が高まるにつれ人々の間にはエジプト人意識が高まっていった。(4)年にウラービーは「エジプト人のためのエジブ

ト」を唱えて反英武装蜂起を行ったが失敗し、かえってイギリスによる保護国化を招くこととなった。やがて、1918年に結成された(5)を主力とする反英独立運動が広範な民衆運動へと展開し、1922年にエジプトは保護国の地位を脱するのに成功したものの、なおイギリスの影響力は強いままにとどまった。弱体化するオスマン帝国では、第一次世界大戦後のギリシアの侵攻、屈辱的な(6)条約の締結などの危機に直面して、大国民議会在が招集され、ムスタファ＝ケマルの指導下にトルコ人の国民国家としてのトルコ共和国が誕生した。同じ時期にイランでは、(7)系の支配者を戴くカージャール朝を廃したパフレヴィー朝が成立し、イラン人としてのナショナリズムを強調する政策をとった。しかし、独裁による政治的腐敗と経済的格差の拡大などに対する国民の不満が高まり、後にイラン革命が起こって、王朝は半世紀ほどの歴史に幕を閉じた。

アラブのナショナリズムが明確な政治運動の形をとったのは第一次世界大戦期のアラビア半島であった。預言者ムハンマドの血を引くハーシム家の(8)は、イギリスの助力を得てアラブ人の独立国家樹立を目指し、1916年に(9)王国を建国したが、サウード家の勢力に敗れて、その歴史は短命に終わった。それでも両大戦の戦間期にアラブ＝ナショナリズムは定着していき、第二次世界大戦末にはアラブ諸国連盟が結成された。さらに、エジプトのナセルは1952年に革命を起し、4年後に大統領に就任すると、アラブ＝ナショナリズムによる統合と社会主義による改革を唱えるアラブ社会主義を積極的に主導し、周辺アラブ諸国に大きな影響を与えた。ナセルはさらに、1961年の非同盟諸国首脳会議開催を開催国の(10)やインドのネルーとともに呼びかけるなどした。しかし、4度にわたる中東戦争がもたらした政治的混迷と経済的負担、人的損失、さらにはその後の社会主義政策の行き詰まりなどから、アラブ社会主義の影響力はエジプト他のアラブ諸国で著しく低下していった。

この地域には今なお、ナショナリズムに起因する未解決の政治紛争が多い。シオニズムと呼ばれるユダヤのナショナリズムから建国されたイスラエルが、難民化したパレスチナ人のナショナリズムの高揚を招いたパレスチナ問題や、イラン、イラク、トルコ、シリアにまたがって居住するクルド人のナショナリズムなどはその典型であり、グローバル化の進展とともにナショナリズムに基づく「国

民国家」概念が十分に機能しなくなってきたという事実が問題をさらに複雑化している。

問1 空欄(1)～(10)に入るもっとも適切なものを、それぞれの選択肢

(a～d)から1つ選びなさい。

- (1) a トルコマンチャーイ b アドリアノーブル
c キュチュク=カイナルジ d サン=ステファノ
- (2) a ユーゴ b ワーズワース c バイロン
d エマーソン
- (3) a マケドニア b モンテネグロ c セルビア
d ワラキア
- (4) a 1871 b 1881 c 1891 d 1901
- (5) a 国民党 b ワフド党 c パース党 d ムスリム同胞団
- (6) a ローザンヌ b ヌイイ c トリアノン d セーヴル
- (7) a イラン b トルコ c クルド d アラブ
- (8) a フセイン b ファイサル c ハサン=アルバンナー
d ウスマーン
- (9) a ネジド b ヒジャーズ c トランスヨルダン
d ワッハーブ
- (10) a スカルノ b スハルト c テイトー d エンクルマ

問2 下線部(あ)の骨格を示す議定書で、イギリスにセイロン島を割譲することになった国を、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a オランダ b フランス c プロイセン d スペイン

問3 下線部(い)の作品として適切でないものを、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a 『歌の本』 b 『アイヴァンホー』 c 『二都物語』
d 『草の葉』

問4 下線部(う)の嚆矢^{こうし}となるギュルハネ勅令を発したスルタンを、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a メフメト2世 b アブデュル=メジト1世
c アブデュル=ハミト2世 d セリム3世

問5 下線部(え)によってボスニア・ヘルツェゴヴィナの施政権を獲得した国を、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a ロシア b オーストリア c フランス d イギリス

問6 下線部(お)が命じて軍事的遠征が行われた事件を時代の古い順から並べたときに正しいのはどれか、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a エジプト=トルコ戦争 → ワッハーブ王国打倒 → ギリシア独立戦争
b ワッハーブ王国打倒 → ギリシア独立戦争 → エジプト=トルコ戦争
c エジプト=トルコ戦争 → ギリシア独立戦争 → ワッハーブ王国打倒
d ワッハーブ王国打倒 → エジプト=トルコ戦争 → ギリシア独立戦争

問7 下線部(か)に関してエジプト王国独立後もイギリスが留保した権利として誤っているものを、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a キレナイカ領有権 b エジプトの防衛権
c スエズ運河地帯駐屯権 d スーダン領有権

問8 下線部(き)の肖像を，選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

a



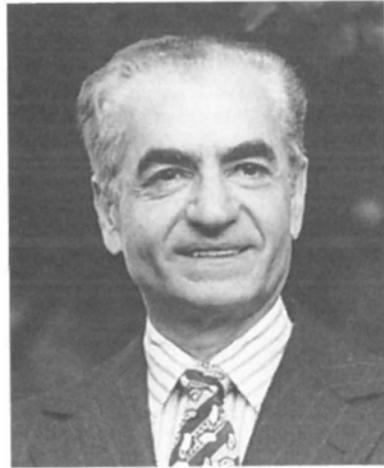
b



c



d



問9 下線部(く)以前の5年の間に起こった出来事を，選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a 沖縄の日本復帰 b ビアフラ戦争終結 c ポル＝ポト政権樹立
d サダト暗殺

問10 下線部(け)出身でないカリフを，選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a ムアーウィヤ b アリー c アブー＝アルアッバース
d ハールーン＝アッラシード

問11 下線部(こ)からエジプトが一時脱退するきっかけになった合意を仲介したアメリカ大統領を，選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a ニクソン b メージャー c カーター d レーガン

問12 下線部(さ)の一環としてエジプトと合併してアラブ連合共和国を形成した国を，選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a ヨルダン b レバノン c シリア d イエメン

問13 下線部(し)について，イスラエルがシナイ半島のほぼ全域を占領したのは第何次の戦争か，選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a 第1次 b 第2次 c 第3次 d 第4次

問14 下線部(ず)の名称の元となった「シオン」とは何か，選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a 地名 b 人名 c 職名 d 儀式名

- 問15 下線部(セ)について誤りを含む文を，選択肢(a～d)から1つ選びなさい。
- a パレスチナは古くはカナーンと呼ばれ，南部にペリシテ人が居住していたことから後にパレスチナと名付けられた。
 - b 第1回十字軍によってこの地に立てられたイェルサレム王国は，1291年アッコンの陥落によって滅亡した。
 - c イギリスの外相バルフォアは1917年に，パレスチナにユダヤ人の民族的郷土を設立することを約束した。
 - d スウェーデンの仲介により秘密交渉が進められ，イスラエル占領地でのパレスチナ人の暫定自治を認める協定が1993年に調印された。

- 問16 下線部(ソ)と同じ語族系統の言語を母語とする人々を，選択肢(a～d)から1つ選びなさい。
- a アラブ人 b トルコ人 c ペルシア人 d ベルベル人

4 次の年表を参照し，年表と同時代の出来事に関して，問(1～10)に答えなさい。解答は選択肢からもっとも適切なものを選びなさい。

- 1853年 ペリー来航……(ア)
- 1868年 明治維新のはじまり……(イ)
- 1914年 第一次世界大戦勃発……(ウ)
- 1917年 ロシア革命……(エ)
- 1919年 パリ講和会議，ヴェルサイユ条約……(オ)
- 1929年 世界恐慌のはじまり……(カ)
- 1933年 ドイツ，ナチス政権成立……(キ)
- 1939年 第二次世界大戦勃発……(ク)
- 1941年 太平洋戦争勃発……(ケ)
- 1943年 カイロ宣言……(コ)
- 1950年 朝鮮戦争勃発……(サ)

- 1956年 ソ連, スターリン批判の開始……(シ)
1965年 ベトナム戦争激化(米軍, 北爆開始)……(ス)
1973年 ベトナム和平のパリ協定締結……(セ)
1989年 米ソ, 冷戦終結声明……(ソ)

問1 (ア)ともっとも近い時期に起こったアジアの出来事を, 選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a アヘン戦争勃発 b 洋務運動の開始
c インド国民会議の成立 d アメリカ, フィリピンを領有
e アロー戦争勃発

問2 (イ)をモデルにした中国の政治改革運動を選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a 変法運動 b 義和団運動 c 新文化運動 d 洋務運動
e 仇教運動

問3 (ウ)の第一次世界大戦中にアジアで起こった出来事として誤っている文章を選択肢(a～e)から2つ選びなさい。

- a この戦争にインド兵が大量に戦場に送られるなかで、イギリスは、民族自決という国際世論の圧力に押されてインドに自治を約束した。
- b 日本は日英同盟を口実に、ドイツが租借する中国の膠州湾を占領し、その利権の継承を中国に認めさせようとして二十一カ条の要求を中国につきつけた。
- c 日本はフランス領インドシナ北部に軍を派遣し、戦争の長期化で国力が消耗している事態を打開しようとした。
- d この戦争による列強資本主義国勢力の後退は、東アジアに空前の好景気をもたらし、日本では工業生産が大幅にのび、中国でも民族資本が成長した。
- e ベトナムでは、この戦争に乗じて、ファン＝ボイ＝チャウを中心に、フランスからの独立と立憲君主制の樹立をめざす維新会が結成された。

問4 (エ)の影響はアジア各地に及んだが、中国においてその政治思想を広めるうえでもっとも大きな役割を果たした人物を選択肢(a～e)から一人選びなさい。

- a 魯迅 b 胡適 c 孫文 d 李大釗 e 康有為

問5 (オ)に関する説明として誤っている文章を選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a ドイツはすべての植民地を失い、アルザス・ロレーヌをフランスに返還し、ポーランドなど周辺国に国境地域を割譲した。
- b この講和会議の基礎となった原則は、アメリカの大統領ウィルソンによる十四カ条であったが、フランスのクレマンソーやイギリスのロイド＝ジョージは、植民地などの既得権益を手放さず、敗戦国にきびしい態度で臨んだ。
- c この講和会議によって、貿易障壁を除去して世界貿易をうながすために、「関税と貿易に関する一般協定」(GATT)が成立した。
- d この講和会議に中国側が提起した要求がしりぞけられたというニュースが中国国内に伝わると、北京で大規模な抗議デモがおこなわれ、条約反対や排日の声が各地に波及した。

問6 (カ)～(ケ)について、それぞれの事件以後に発生した出来事を選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- (カ) a 国民革命軍が北伐を開始した。
b ガンディーが「塩の行進」とよばれる運動を開始した。
c 日本で治安維持法が成立した。
d 上海で五・三〇運動が発生した。
- (キ) a 中国共産党軍が長征を開始した。
b ネルーら急進派がプールナ＝スワラージを提唱した。
c 日本が満州国を樹立した。
d スカルノがインドネシア国民党を結成した。
- (ケ) a 盧溝橋で日中間の軍事衝突が発生した。
b 重慶政府に対抗して、南京に汪兆銘政権が樹立された。
c ホー＝チ＝ミンがインドシナ共産党を結成した。
d 日本が国際連盟を脱退した。

- (ケ) a 日独伊三国同盟が結成された。
- b 「大東亜共栄圏」をとなえる日本は、占領下のフィリピンやビルマ（ミャンマー）で親日政権を設立させた。
- c 中国共産党は八・一宣言を出して、内戦を停止し、民族統一戦線の結成を呼び掛けた。
- d 全インド＝ムスリム連盟は、イスラーム教徒の独立国家建設を決議した。

問7 (コ)の宣言に加わった3人の国家的指導者の名前として正しい組み合わせを選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a ローズヴェルト、スターリン、毛沢東
- b トルーマン、スターリン、蔣介石
- c ローズヴェルト、チャーチル、蔣介石
- d トルーマン、チャーチル、毛沢東
- e ローズヴェルト、チャーチル、スターリン

問8 (サ)の戦争に関する説明として誤っているものを選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a この戦争を契機に、東西対立はアジア・太平洋地域にもひろがり、アメリカは日米安全保障条約をはじめとした同盟網をこの地域に張りめぐらせた。
- b 国連安全保障理事会は、北朝鮮軍の行動を侵略行為だとして国連軍の派遣を決定した。
- c アメリカは、北緯17度線を暫定軍事境界線とし、統一選挙の実施を約束したが、この戦争によって朝鮮半島は南北に分断されることになった。
- d 中国が北朝鮮支援に乗りだし、一時は核兵器の使用が実際に検討されるなど核戦争の危機もあったが、ソ連の提案で休戦会談がはじまった。

問9 (シ)がもたらした影響として誤っているものを選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a ハンガリーでは社会主義体制やソ連からの離脱を求める大衆行動が全国的に拡大したため、ソ連がこの動きに軍事介入して鎮圧した。
- b 中国では知識人に自由な発言を求める運動が、共産党によって提唱されたが、共産党独裁に対する批判が噴出すると、突然、彼らを右派として激しい弾圧をおこなった。
- c ベトナムでは、ドイモイ政策のもとにゆるやかな市場開放に向かい、社会主義がしだいに形骸化していった。
- d ポーランドでは、生活改善と民主化を要求する民衆と軍・警察とが衝突し、共産党は指導者を交代させて、自由化路線をとった。

問10 (ス～ソ)ともっとも近い年に中国で起こった出来事を、それぞれについて選択肢(a～i)から1つずつ選びなさい。

- a 第2次天安門事件の発生
- b 「大躍進」運動の失敗
- c 米大統領ニクソンの訪中
- d 人民公社の設立
- e プロレタリア文化大革命の開始
- f 毛沢東の死亡
- g 改革開放政策の開始
- h 日中平和友好条約の締結
- i 中国土地改革の完了